

令和 2 年度ポリファーマシー研修会 次第

日時：令和 2 年 11 月 14 日（土）14 時 30 分～16 時 30 分

場所：アクロス福岡 イベントホール（福岡市中央区天神 1 丁目 1 番 1 号）

共催：福岡県保健医療介護部薬務課・公益社団法人福岡県薬剤師会

後援：公益社団法人福岡県医師会

1 開会挨拶

2 講演内容

「ポリファーマシー対応～症例を通して考える～」

講演 1 「診療所外来、在宅医療でのポリファーマシー対策」
医療法人白髭内科医院 院長 白髭 豊 氏

講演 2 「多職種協働で行うポリファーマシー適正化」
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター薬剤部 溝神 文博 氏

3 閉会挨拶

令和2年度ポリファーマシー研修会アンケート

※ (スマートフォンからアンケート回答もできます)



質問1 勤務先(所属)をご記入ください。

- ①医師(病院) ②医師(診療所) ③薬剤師(薬局) ④薬剤師(病院) ⑤看護師
⑥介護福祉士 ⑦大学・研究機関 ⑧行政機関 ⑨事務 ⑩その他()

質問2 講演1「診療所外来、在宅医療でのポリファーマシー対策」について

- ①とても参考になった
②参考になった
③参考にならなかった

質問3 講演2「多職種協働で行うポリファーマシー適正化」について

- ①とても参考になった
②参考になった
③参考にならなかった

質問4 今後、ポリファーマシーに関する研修会で聴講してみたい講師・内容があれば記載してください。

テーマ	
講師	

質問5 勤務している職場において、ポリファーマシーに関して、どのような取り組みを行っていますか。(複数回答可)

- ①お薬手帳の活用
②トレーニングレポート等を利用して医師へ情報提供、処方提案
③退院時薬剤情報提供による薬薬連携
④残薬確認
⑤多職種連携(処方検討会、カンファレンス等の開催・参加)
⑥患者啓発
⑦未実施
⑧その他()

質問6 ポリファーマシーに関する取組促進に特に必要だと思うことを、1つご記入ください。

- ①患者も含めた多職種連携
②医師のポリファーマシーに対する理解・知識の向上
③薬剤師のポリファーマシーに対する理解・知識の向上
④お薬手帳等を活用した薬の一元管理
⑤患者啓発
⑥その他()

御協力ありがとうございました。

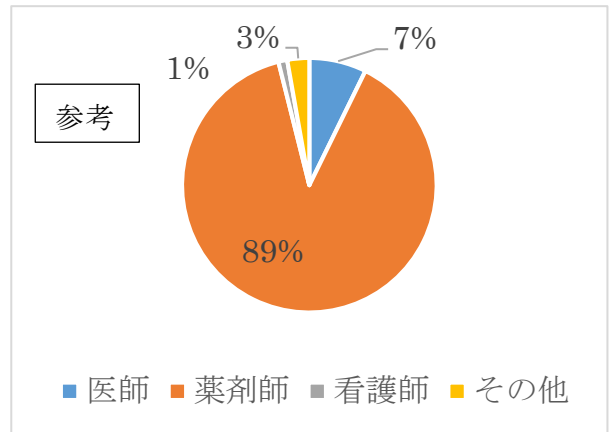
令和2年度ポリファーマシー研修会 アンケート結果まとめ

アンケート回答率：68.8%

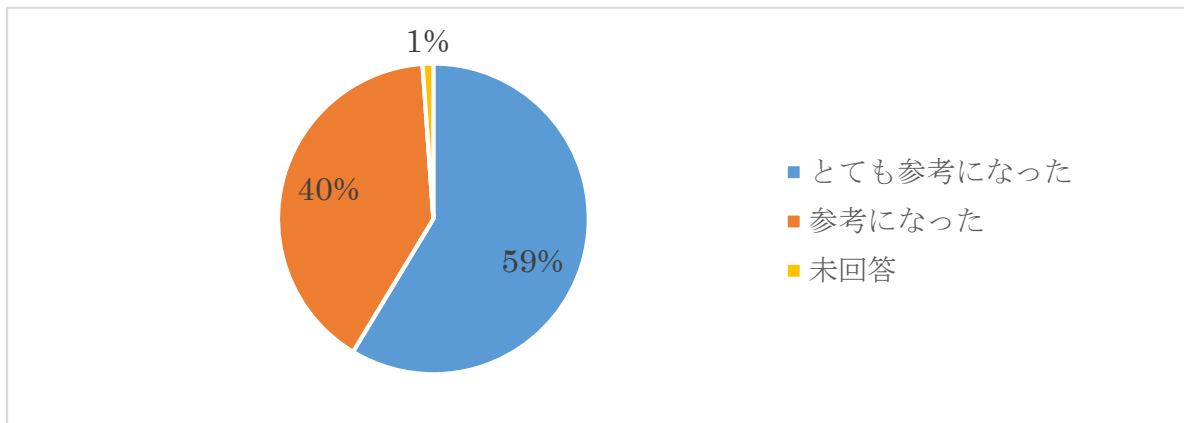
研修会参加者：260名、アンケート回答者数：179名

質問1 職種（勤務先）について（n=179）

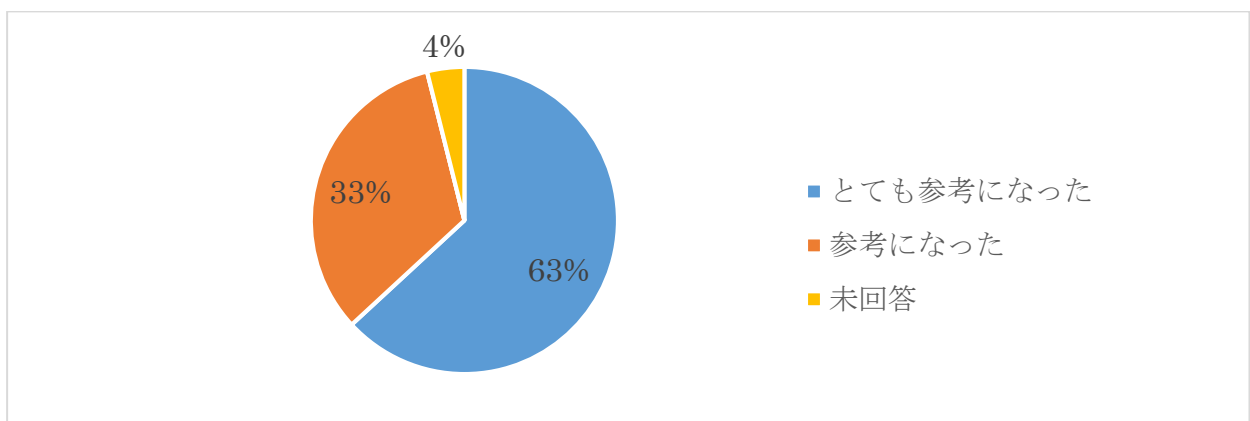
	人数	割合
医師（病院）	8	4.5%
医師（診療所）	5	2.8%
薬剤師（薬局）	132	73.7%
薬剤師（病院）	26	14.5%
看護師	2	1.1%
大学・研究機関	1	0.6%
行政機関	1	0.6%
事務	2	1.1%
その他	1	0.6%
未回答	1	0.6%



質問2 講演1「診療所外来、在宅医療でのポリファーマシー対策」について（n=179）



質問3 講演2「多職種協働で行うポリファーマシー適正化」について（n=179）



質問4 今後、ポリファーマシー研修会で聴講してみたい講師・内容について

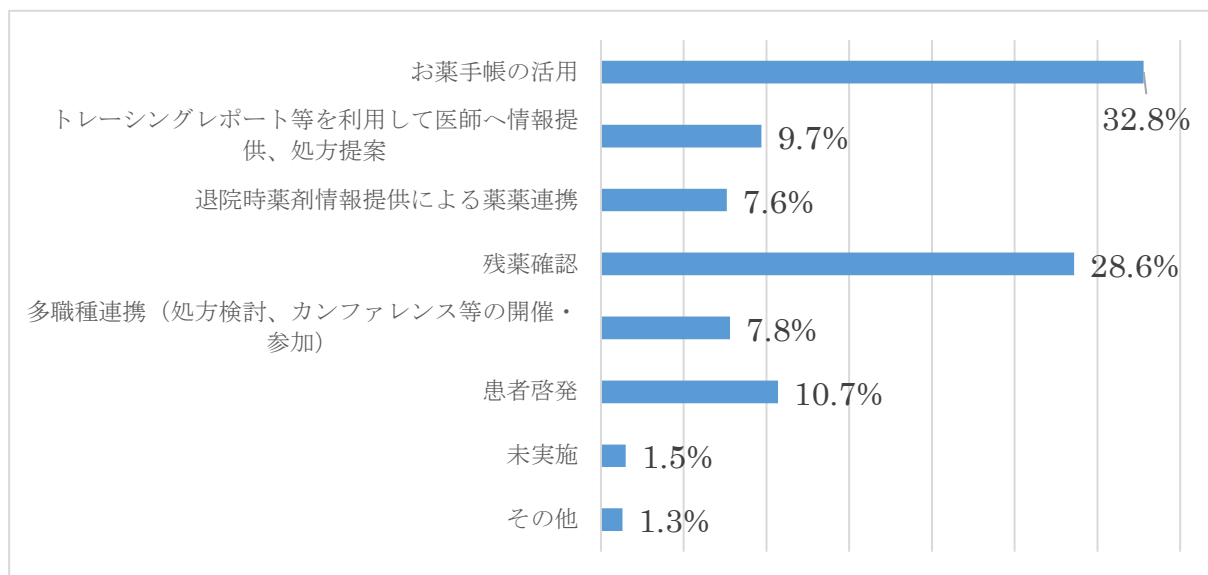
【テーマ】

- 具体例、実例、失敗例（薬局側、医師側の立場から） 【14】
- 認知症の患者との服薬支援の在り方 【1】
- トレーシングレポートの書き方 【1】
- 救急センター、救急外来でのポリファーマシー介入 【1】
- フォーミュラリー 【1】
- オンライン資格確認による重複のチェック 【1】
- 患者教育 【1】
- 具体的な薬の副作用の共有 【1】

【講師】

- 秋下先生
- 沢山の事例をお持ちの方。複数に。
- フォーミュラリーの適任者
- 調剤薬局薬剤師
- 地元福岡の医師の講話（九大・福大等）

質問5 勤務している職場での、ポリファーマシーに関する取り組み(n=475、複数回答)

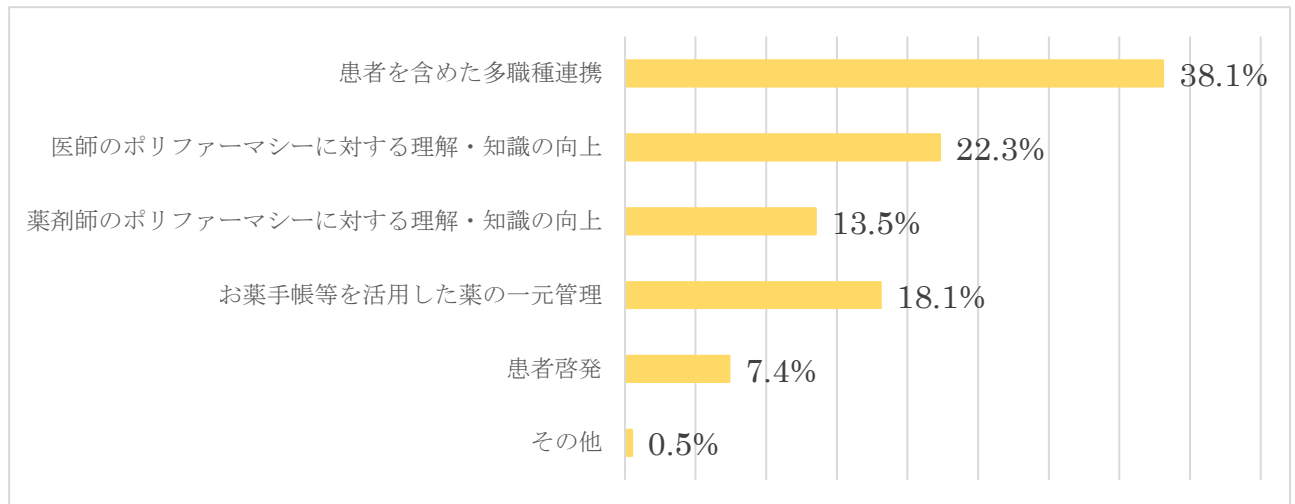


その他

- 処方せんのコメントの活用 ex. ccr ○○日他院で等。お薬手帳にメモをはさむ。
- 県提示の患者宅訪問しての他科受診チェック
- 患者との会話
- ポリファーマシー症例に対して入院期間中に加入を行っている。
- チームカンファ時に問題点として取り上げる。主治医への忠告及び処方内容提案。

質問6 ポリファーマシーに関する取組促進に特に必要だと思うこと。(n=215、複数回答※)

※回答は1つとしているが、複数回答も多くあったため、複数回答も計上している。



その他

- 単に薬を減らせばいいのではないので、1つ1つの薬剤に特別な処方意図があればそれを知りたい。ぜひ、医師から調剤薬局へ処方意図（病名も含め）をお知らせいただくことが可能になる仕組みが欲しい。

来年度に向けて

○アンケート方法について

- ・スマートフォンによる回答 11名、紙面による回答 168名
- ・紙面による回答の場合、回答を1つとしているのにも関わらず、複数回答をしている者がいる（質問6）。スマートフォンによる回答であれば、設定上複数回答を防げ、また、回答の集約が簡単であるため、電子アンケートを推進するほうがいい。

○テーマ及び講師について

- ・アンケート結果から、具体的な事例（実例、成功例、失敗例）を取り上げてほしいという要望が多く、医師や薬剤師のそれぞれの立場からの意見を共有できるものがよい。

○参加者について

- ・県医師会と連携した研修会（共催）、日医の単位取得研修としたことで、昨年度はゼロであった医師の参加が、今年は20名の参加があった（事前申込では29名）。次回も、同様に県医師会と連携して開催するとよいと考える。
- ・約9割が薬剤師（薬局、病院）であり、多職種の医療従事者が参加できるよう、引き続き関係団体への周知依頼を行う。
- ・土曜日午後（14時30分）からの開催で、参加しやすい日程であったと思われる。（昨年度は金曜日19時開始で、参加者223名であった。）